

第1回嘉麻市水道事業経営審議会 会議録

1. 会議名称 第1回嘉麻市水道事業経営審議会
2. 開催日時 令和8年2月24日(火) 14:00~15:30
3. 開催場所 嘉麻市役所本庁舎 4階 防災対策室
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 出席者(敬称略)
 - (委員)
塩塚 正康、飯島 高雄、富田 豊、中村 博美、小川 史佳、松岡 康則、
三宅 信義、縄田 洋明、吉江 瑛子、曾我部 美恵子
(※欠席委員:楠田 靖彦、頼金 豊子)
 - (事務局)
水道局長 柴田 英樹、水道局長補佐 藤井 敏道、業務係長 川浦 健司、
施設・維持係長 香月 大亮
6. 傍聴人数 0名
7. 議題及び審議の内容
 - (1) 市長挨拶
 - (2) 委嘱書交付
 - (3) 委員及び事務局職員自己紹介
 - (4) 会長・副会長選任
会長を塩塚正康委員、副会長を飯島高雄委員と決定した。
 - (5) 会長・副会長挨拶
 - (6) 諮問
 - (7) 報告
 - ・嘉麻市水道事業経営審議会について
事務局から概要説明を行った。
(委員)
答申は1年以内とか概ねでいいから教えていただきたい。
(事務局)
スケジュールについては後ほど示したい。
 - ・嘉麻市水道事業の概要について
事務局から資料に基づく概要説明を行った。
(委員)
13 ページの現行料金というところがあるが、端的に言って1世帯あたりでどのくらい赤字になっているか分かるか。
(事務局)

どれくらいの赤字かというのは分かりにくい部分があるが、分かり易い数字でいうと9ページの給水原価と供給単価になる。供給単価が147.58円で給水原価が159.29円となっており、1立方メートルあたり水を売り買いするのに11円ちょっとのマイナスになっている。これがそのまま赤字額につながっている。

(委員)

まず8ページの説明で職員数が13名だと聞いたが、12ページでは31名となっているので、この違いは何か。あと1点、令和3年度から赤字経営が続いており、これは補填財源で補填していると思うが、企業債の借金はどれくらいあるのか。

(事務局)

説明の中できちんとお伝えしておけば良かったが、8ページでお伝えした職員数は正規職員の数である。12ページについては会計年度任用職員を含んだ数になる。会計年度任用職員については浄水場の運転管理等に当たってもらっている。企業債については、20ページに令和元年度から令和6年度までの推移について記載しており、現在は21億となっている。

(委員)

有収率が86パーセントとなっているが、だいたい全国平均90パーセント近くないと採算性が合わないと思う。漏水調査とかあると思うが、有収率が低いと感じる。事務局はどのように考えているか。

(事務局)

ご指摘のとおり、有収率の改善については図っていかねばならないと考えている。毎年管路上の音聴調査を実施して、修繕を行っている。ただしこれで100パーセント確認できるかと言えば難しいところであり、確かに有収率は全国平均を下回っている状況であり、水道局内部でも対応を強化していかねばならない部分だと考えている。

(会長)

14ページのところで質問だが、施設の更新について今あるものを更新することで考えているのか、それとも統廃合という考えはあるのか。

(事務局)

令和5年3月に策定した施設管路更新計画では現状の施設をそのまま更新する計画となっている。ただ、建設する際には給水人口や供給量を考えながら、統廃合についても進めていく必要があると考えている。

(委員)

資料の要求をお願いしたい。13ページの現状について、類似団体及び飯塚市、桂川町、この筑豊地域の料金体系、これを次回の審議会で出していただきたい。

(事務局)

承知した。

(会長)

15 ページには水道管の年度別布設延長が書いてあり、老朽管も多いように感じる。他の自治体で起こっているような水道管の破裂といった事故は嘉麻市で起こっているか。

(事務局)

新聞報道になるような陥没とか噴き上げとかいったことは近年では起きていない。ただ複数世帯が断水するような漏水状況は週に何回か発生している。

(委員)

老朽管の更新で、その費用は1キロメートルあたりいくらかかるのか。

(事務局)

管の口径にもよるが、1メートルで7、8万円かかるので、1キロメートルだとその1,000倍になる。

(委員)

嘉麻市は経常収支比率が105パーセントぐらいとかなり厳しく、そのうち水道料金やごみの料金もいつか上がるだろうと思っていたが、令和3年度から赤字が続いていたというのには驚いた。今更だという気はするが、水道の経常収支もかなり厳しい状況にあると思うので、料金を上げなければいけない、じゃあどのくらい上げなければいけないのか、という数字も次は提示していただきたいと思う。

(事務局)

いま言われた資料については、審議会を進める中で、どこかの段階で提示させていただきたい。

(委員)

漏水について、本管ではなく支管の漏水はどうしているか。

(事務局)

音聴調査については水道メーター付近まで実施している。本管だけではなく、分岐した支管についても実施している。

(委員)

漏水していると水道局に言っても修繕をしてくれないと聞いたことがあるが。

(事務局)

基本的にはメーターより本管側、水道局で管理する部分については、通報を受けてから漏水を確認した段階で、なるべく早く修繕を行うようにしている。ただしメーターから家側については個人の管理になるので、個人に修繕を促すといった対応を取っている。

(委員)

有収率は過去5年に遡ってどれくらい改善されたのか。

(事務局)

また調べて回答したい。

(会長)

16 ページについて、嘉麻市の耐震化率が低いように感じるが。

(事務局)

ご指摘のとおり、かなり低い部分もある。管路更新についてももう少し事業展開したいところであるが、資金繰りや技術職員の不足もあり、なかなか思うように進まないというのが正直なところ。現状は浄水場や配水池の整備を進めながら、将来的に取水場の整備も進めていきたい。

それと、先程の漏水調査でどのくらい効果が上がったかということであるが、令和 6 年度で見つかった漏水箇所が 64 件、推定の漏水量が 1 日当たり 1,360 立方メートルと確認している。効果としては 1 日当たり 4 千人が使用する水量を制御できているということで整理している。

(会長)

一般会計からの繰入金状況について教えていただきたい。

(事務局)

令和 6 年度実績になるが、資本的収支の主なものとして企業債元金償還金が 4,730 万円程度ある。その他、収益的収支の企業債利息が 360 万円程度ある。主なものとしてはこれら 2 点になる。

(委員)

基本的には独立採算制なので繰入れはできない。一般会計がすべき中身だとする事例を挙げていただきたい。

(事務局)

炭鉱水道の移管を受けた閉山炭鉱水道整備事業ということで企業債を借りている。この企業債について交付税措置があり、これが一般会計に入るため、その相当額を繰り入れている。

(会長)

24 ページ 25 ページに経営の見通しが書いてあるが、収益的収支は現状のままでいけば赤字が続き、資本的収支は令和 10 年度に補填財源がマイナスになる。手元の現金預金が無くなって事業がストップしてしまうことになるので、収益的収支の赤字とはレベルが違う。危機的な状況が目の前に迫っていることを表している。それを踏まえて 26 ページでは水道料金の改定の検討が必要だと整理されている。

端的に申し上げて、かなり厳しい数字が並んでいる。補填財源が安定するぐらいに水道料金を上げようとする、かなり高い金額になってしまうのではないかと。だから、設備更新やコストを抑えながらというのが重要な内容になるのではないかとと思われる。

(8) 議事

・審議会スケジュールについて

事務局から資料に基づく概要説明を行い、了承を得た。

(9) その他

(委員)

要望になるが、会議を午前 10 時からにしていきたい。

(事務局)

今後検討する。